

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		選択	2	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
田村 正人	B308	masato.tamura	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;学生が精神保健福祉士の実習の意義について理解し、実習を通して精神保健分野におけるソーシャルワーク実践を具体的に体験することにより高い実践力を体得できるよう目標、課題を明確にし、実習計画を作成することを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;実習先に関する組織、特性、地域等の情報について情報収集を行い、実習生としての実習目標、課題を設定できるように授業を進める。実習計画書等の作成にあたっては、グループおよび個別にディスカッションを交えながら完成させる。</p>				
学習上の助言	<p>実習先に関して、特徴や地域の情報を文献やインターネット等の活用による情報収集を行い、自身の実習に対する目標、課題を具体的に設定することが必須となる。従って、授業以外での予習・復習を確実に行ったうえで授業に取り組むことが必要である。</p>				
教科書	新・精神保健福祉士養成講座 9 精神保健福祉援助実習指導・実習/編：日本精神保健福祉士養成校協会/中央法規出版				
参考書	「学外実習の手引き」(学内発行)				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神保健福祉士のソーシャルワーク実習の意義について理解できる。			HSU(1)(2)、WP(1)	
②	実習先の組織、対象者、地域について理解できる。			HSU(2)、WP(4)	
③	学生自身の実習の意義を説明することができる。			HSU(1)(2)、WP(4)	
④	学生自身の実習で達成するべき目標と課題達成のための方法を設定することができる。			HSU(1)(2)(5)、WP(4)(5)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業概要、学習方法の説明等)	講義・演習	精神保健福祉援助実習指導Ⅰを振り返る。		4
2	【第3章 実習の準備と計画】 事前学習の目的・内容・方法について学習する。	講義・演習	事前にテキストを読んでおく。		4
3	実習先の形態と実習先の選定、実習計画について学習する①。	講義・演習	事前にテキストを読んでおく。		4
4	実習先の形態と実習先の選定、実習計画について学習する②。	講義・演習	事前にテキストを読んでおく。		4
5	実習先地域について情報収集し理解をする。	講義・演習	事前にテキストを読んでおく。		4
6	精神科医療機関・関連機関の見学を実施する。	講義・演習	精神科医療機関・関連機関について整理する。		4
7	実習計画書を作成する (医療機関) ①。	講義・演習	事前にテキストを読んでおく。		4
8	実習計画書を作成する (医療機関) ②。	講義・演習	事前にテキストを読んでおく。		4
9	実習計画書を作成する (医療機関) ③。	講義・演習	事前にテキストを読んでおく。		4
10	実習先の情報、実習先の地域について情報収集し理解する。	講義・演習	実習先の情報を収集してくる		4
11	実習計画書 (医療機関) を作成する。	講義・演習	実習計画書を作成してくる		4
12	実習計画書 (施設) を作成する。	講義・演習	実習計画書を作成してくる		4
13	実習計画の作成 「実習計画書」「実習生個人票」を仕上げる。	講義・演習	「学外実習の手引き」を熟読し、課題を作成してくる。		4
14	実習巡回指導①「実習計画書」「自己評価票」「実習日誌」をもとに、実習での体験等についてスーパービジョンを実施する。	講義・演習	「自己評価票」に実習の達成状況を記入する。		4
15	実習巡回指導①「実習計画書」「自己評価票」「実習日誌」をもとに、実習での体験等についてスーパービジョンを実施する。	講義・演習	「自己評価票」に実習の達成状況を記入する。		4
試					

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	0	0	100	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	30	30
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	20	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	20	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	実習準備における取組の姿勢および、「実習施設情報」「実習計画書」「実習生個人票」作成など課題に対する達成度によって評価する。				個別に課題評価を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉援助実習指導Ⅰの単位を取得していなければ本科目は履修できない。</li> <li>・学外現場実習へ向けた科目なので、原則として遅刻・欠席は認めない。やむを得ず遅刻・欠席する場合には、所定の手続きを踏んで対応すること。</li> <li>・今後の新型コロナウイルス感染症の状況などにより、再度シラバスの変更の可能性がある。</li> <li>・全 15 回が登校型授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。</li> </ul>							